

啓林館版 英語2年
ブルースカイ

定期テスト ズバリよくでる

解答集

Unit 1～Let's Talk 1

p.3～5

予想問題

- ① 1 丸い 2 植物
3 悲しい 4 ニュース, 知らせ
5 頭痛 6 作家
7 character 8 bookcase
9 hungry 10 angry
11 trouble 12 song
- ② 1 イ 2 ウ 3 イ 4 ウ 5 イ 6 イ
3 1 × 2 ×
4 1 up 2 cold
5 1 There 2 What
6 1 When he got sleepy, he went to bed.
2 Is there a train station in this town?
7 1 Yes, there is.
No, there isn't [is not].
2 Yes, there are.
No, there're not [are not].
8 1 自由な時間があるとき, 私は本を読みます。
2 私が家に帰ってきたとき, 彼らは眠っていました。
9 1 My house is next to a flower (shop).
2 There is a poster on the wall(.).
10 1 When he called me, I was sleeping.
2 There is a ball on the floor.

考え方

- ① 5 headache 下線部のつづりと発音に注意。
6 write「書く」+ -er「人」という意味。
11 trouble 下線部のつづりに注意。
② 1 「月が丸いことはみんなが知っています。」
月を説明する形容詞として適切なのは, イ
round「丸い」。
2 「庭にはたくさんの植物があります。」 庭に
あるものとして適切なのは, ウplants「植物」。
3 「大丈夫ですか, メグ?」「頭が痛いです。」

「大丈夫か」と聞かれているので, イ
headacheを入れて「頭が痛い」とすると適
切な応答になる。

- 4 「彼はよい作家です。彼はたくさんのよい本
を書きました。」 本を書く人は, ウwriter
「作家」。
5 「私はとてもおなかがすいています。カレー
が食べたいです。」 イhungryは「おなかが
すいた」という意味。
6 「その音楽家は美しい歌を歌います。」 sing
「～を歌う」の目的語として適切なのは, イ
songs「歌」。
③ 1 「マーチ, 行進曲」, 「地震」。 marchのarは
[ɑ:r], earthquakeのearは[ə:r]と発音する。
2 「物語」, 「～を失う」 storyのoは[ɔ:], lose
のoは[u:]と発音する。
4 1 「～を元気づける」はcheer up ～。
2 「かぜをひく」はcatch a cold。
5 エミリー: 「うわー! あなたの部屋にはたく
さんの絵本がありますね。」
アオイ: 「はい, 私は絵本が好きです。」
エミリー: 「この丸い顔のキャラクターは何
ですか。」
アオイ: 「彼はアンパンマンです。彼は私の
ヒーローです。」
エミリー: 「おや, ここにもう1冊アンパン
マンの本があります。あなたは彼がとても好
きなんですね。」
① 「あなたの部屋には」とあるので, thereを選
んで, There are ～「～があります」とする。
② アオイは「彼はアンパンマンです」とどんな
人物かを答えているので, whatが適切。
⑥ 1 「眠くなったとき, 彼は寝ました。」 when
～が文の前半にくる場合は, 後半の節の前
にカンマを置く。
2 「この町には鉄道駅があります。」→「この町
に鉄道駅はありますか。」 There is [are]

～.の疑問文は, is [are]をthereの前に出す。

- ⑦ ①「あなたの家の近くに図書館はありますか。」
「はい, あります。」/「いいえ, ありません。」
Is there ~? でたずねる文には, there is を使って答える。
- ②「生徒たちは教室にいますか。」「はい, います。」/「いいえ, いません。」Are there ~? でたずねている文には, there are を使って答える。
- ⑧ ① freeは「自由な」という意味。
② come homeは「帰宅する」という意味。
- ⑨ ①「～のとなりに」はnext to ~で表す。
②「～があります」なので, There is ~.の文にする。「壁に」はon the wallの語順。
- ⑩ ①「～するとき」はwhenを使う。whenが文頭なので, 後半の節の前にカンマを置く。
②「～があります」はThere is [are] ~.で表す。「ボールが1つ」なので, be動詞はis。「～(の上)」はonを使って表す。

pp.6~7

予想テスト

- ① ① There is ② were singing ③ bears
- ② ① We were running in the park(.)
② Is there a TV in this room(?)
③ There is a sofa by the window(.)
- ③ ① ウ ② イ ③ ア
- ④ ① wrote ② when
③ つらいときに, 彼らはその歌を歌っていました。
- ⑤ ① (例) My mother was waiting in front of my school.
② (例) I was reading a book two hours ago.
③ (例) When I was watching TV, my mother came home.
④ (例) He is not my father, but my grandfather.
⑤ (例) Is there a post office near your house?

考え方

- ① ①「～があります」はThere is [are] ~.で表す。an appleなので, isを使う。

②「～していました」は<was [were] + 動詞の-ing形>の形で表す。主語がTheyなので, wereを使う。

③ Are there ~?なので, 「クマ」は複数形 bears。

② ① 過去進行形<was [were] + 動詞の-ing形>の形にする。

②「～がありますか」はIs there ~?の形。

③「～があります」はThere is ~.の形。「窓のそばに」はby the windowと表す。

③「あなたは今どこにいますか。」
「私はレストランの前にいます。ここに来てくれますか。」
「いいですよ。レストランはどこですか。」
「郵便局のとなりです。」

① in front of ~で「～の前に」。Uinが適切。

② AはOK。「いいですよ。」と応じているので, Can you ~?「～してくれますか」と依頼する文にする。I Canが適切。

③ next to ~で「～のとなりに[の]」。A nextが適切。

④「彼は漫画家で絵本作家のやなせたかしです。彼はアンパンマンを作り出しました。彼はまた作詞家・作曲家でもあります。彼は『アンパンのマーチ』を書きました。東日本大震災が起こったとき, その歌は東北の人々を元気づけました。つらいときに, 彼らはその歌を歌っていました。」

① write「～を書く」の過去形はwrote。

② ②を含む文は, カンマをはさんで2つの節が並んでいるので, 接続詞が必要。when「～するとき」を入れて, 「東日本大震災が起きたとき, …」とする。

③ during the hard timesは「つらいときに」という意味。

⑤ ①「～していた」は過去進行形<was [were] + 動詞の-ing形>の形で表す。「～の前で」はin front of ~。

② 過去進行形<was [were] + 動詞の-ing形>の形で表す。「2時間前に」はtwo hours ago。

- ③ 「～するとき」はwhenを使って表す。when
～が文の前半にくるので、後半の節の前に
カンマを置くことに注意。「家に帰ってくる」
はcome home。
- ④ 「～ではなく…」はnot ～, but …。
- ⑤ 「～がありますか」はIs [Are] there ～? の
形で表す。「～の近くに」はnear。

Unit 2～Let's Talk 2

pp.9~11

予想問題

- ① ① 晴れた ② くもった ③ 浜辺, ビーチ
④ 計画 ⑤ 島 ⑥ 規則, ルール
⑦ tonight ⑧ tomorrow ⑨ win ⑩ local
⑪ famous ⑫ respect
- ② ① イ ② ウ ③ ウ ④ イ ⑤ イ ⑥ イ
- ③ ① × ② ○
- ④ ① out ② prepare
- ⑤ ① still ② take
- ⑥ ① I'm [I am] going to meet my aunt
tomorrow.
② We will do our best next Friday.
- ⑦ ① I'm [I am] going to go shopping.
② I'm [I am] going to go cycling.
- ⑧ ① すぐに雨になり、寒くなるでしょう。
② このカメラであなたの写真をとってあげます。
- ⑨ ① (We) must follow the school rules(.)
② We have to prepare for the (sports
festival.)
- ⑩ ① You don't have to take an umbrella
today.
② You must not [mustn't] eat in this room.

考え方

- ① ① nを2つ重ねる。
⑤ つづりとともに発音にも注意。
⑦ tonight 下線部のつづりに注意。
⑪ famous 下線部のつづりに注意。
- ② ① 「今日は晴れています。浜辺に行きましょ
う。」 選択肢の中で場所を表す語は、イ
beach「浜辺」のみ。
② 「あなたの冬休み中の計画は何ですか。」

空所の直後がduring winter vacationな
ので、ウplan「計画」を入れて、「冬休み中の
計画」とするのが適切。

- ③ 「たくさんのイルカが島の近くに生息して
います。」 イルカがいる可能性がある場所
は、ウisland「島」のそば。
- ④ 「あなたは校則に従わなければいけません。」
イrules「規則」を入れて、school rules「校
則」とするのが適切。
- ⑤ 「私は次の試合に勝ちたいです。」 目的語
がthe next match「次の試合」なので、イ
win「～に勝つ」が適切。
- ⑥ 「こちらは有名な美しい浜辺です。毎日たく
さんの人が訪れます。」 選択肢の中で、
beach「浜辺」を説明する形容詞として適切
なのは、イfamous「有名な」。
- ③ ① 「計画」, 「先住の」。 planのaは[æ], native
のaは[ei]と発音する。
② 「ガム」, 「公共の」 gumとpublicのuはど
ちらも[ʌ]と発音する。
- ④ ① 「外出する」はgo out。
② 「～に備える」はprepare for ～。
- ⑤ ケリー: 「今夜夜景を見に行きましょう。」
アオイ: 「でもまだ雨が降っています。」
ケリー: 「心配しないでください。すぐに晴れ
るでしょう。香港では、夏、雨は短い時間し
か続きません。」
アオイ: 「本当ですか。それなら私はカメラ
を持っていけます。私はたくさん写真を取り
たいです。」
- ① ケリーの2番目の発言に「すぐに晴れるで
しょう。」とあるので、今は雨が降っている
ことがわかる。still「まだ」が適切。
- ② I want to ～.の形なので、空所には動詞が
入ると分かる。目的語がmany pictures「た
くさんの写真」なのでtake「(写真・ビデオ)
をとる」が適切。
- ⑥ ① 「私は毎日おばに会います。」→「私は明日お
ばに会うつもりです。」 be going to ～で
「～するつもりです」。主語がIなので、be動
詞はam。

- 2 「昨日、私たちは最善をつくしました。」→「次の金曜日、私たちは最善をつくすつもりです。」 next Friday「次の金曜日」は未来のこと。〈will + 動詞の原形〉の形を使って、「～するつもりである」とする。
- 7 1 「あなたは明日何をするつもりですか。」「私は買い物に行くつもりです。」質問文はwhatを使ったbe going to ～の疑問文。答えの文もbe going to ～の形を使って答える。「買い物に行く」はgo shopping。
- 2 「あなたは日曜日に何をするつもりですか。」「私はサイクリングに行くつもりです。」「サイクリングに行く」はgo cycling。
- 8 1 天気の話をしているので、「～でしょう」という未来を予測した文とわかる。soonは「すぐに」という意味。
- 2 with this cameraは「このカメラで」という意味。
- 9 1 mustを使った「～しなければならない」は、〈must + 動詞の原形〉の形で表す。
- 2 〈have to + 動詞の原形〉で「～しなければならない」。「～の準備をする」はprepare for ～。
- 10 1 「～する必要はない」は〈don't have to + 動詞の原形〉の形で表す。
- 2 「～してはいけない」という禁止は〈must not [mustn't] + 動詞の原形〉の形で表す。

pp.12~13

予想テスト

- 1 1 will take 2 must follow 3 am going to
- 2 1 What's your plan during summer vacation(?)
- 2 I will go cycling (today.)
- 3 We must not take pictures (here.)
- 3 1 E 2 E 3 E
- 4 1 plans 2 what
- 3 あなたののためにたくさん写真を撮ってあげます。
- 5 1 (例) I'm [I am] going to visit Japan next year.
- 2 (例) It will be cloudy tomorrow.

- 3 (例) You don't have to worry.
- 4 (例) You must not go out at night.
- 5 (例) What places do you recommend in Tokyo?

考え方

- 1 1 「～します」という意志は、〈will + 動詞の原形〉を使って表す。「～を持っていく」はtake。
- 2 「～しなければならない」は、〈must + 動詞の原形〉の形で表す。「～に従う」はfollow。
- 3 「～する予定です」は、be going to ～を使って表す。主語がIなので、be動詞はam。
- 2 1 「～は何ですか」はwhatを文の最初に置き、be動詞の疑問文の形を続ける。「夏休みの計画」はplan during summer vacation。
- 2 「～をしに行く」という意志は、〈will + go + ing〉を使って表す。「サイクリングに行く」はgo cycling。
- 3 「～してはいけない」は〈must not + 動詞の原形〉の形で表す。「写真をとる」はtake pictures。
- 3 A: 「私たちはこの週末の旅行の準備をしなければなりません。」
B: 「はい。あなたはスーツケースを詰めなければなりません。」
A: 「私はタオルを持っていく必要はありますか。」
B: 「いいえ、その必要はありません。ホテルにタオルはあります。」
- 1 prepare for ～で「～の準備をする」。E prepareが適切。
- 2 doで始まる一般動詞の疑問文なので、E have toが適切。それ以外の選択肢は助動詞。
- 3 Bは続けて「ホテルのタオルを使うことができます」と言っているので、タオルを持っていく必要がないことがわかる。〈don't have to + 動詞の原形〉で「～する必要はない」。E don't have toが適切。
- 4 ソラ: 「あなたは夏休みの計画は何かありますか。」
エミリー: 「私は家族といっしょにハワイを

訪れる予定です。」

ソラ:「それはすごいですね!そこで何を
する予定ですか。」

エミリー:「ボートに乗ってイルカを見る予
定です。」

ソラ:「なんてすばらしい!私もイルカが見
たいです。」

エミリー:「あなたのためにたくさん写真を
撮ってあげます。」

- ① plansはplan「計画」の複数形。
- ② エミリーは「ボートに乗ってイルカを見る
予定です。」と答えているので、「何をする予
定ですか」とたずねる文にすればよい。
- ③ for youは「あなたのために」という意味。
- ⑤ ①「～する予定です」はbe going to ～で表す。
「～を訪れる」はvisit。
- ② 天気について述べるときは、itを主語にする。
明日のことについてなので、will「～でし
ょう」を使って未来を予測した文にする。「く
もった」はcloudy。
- ③「～する必要はない」は〈don't have to + 動
詞の原形〉で表す。「心配する」はworry。
- ④「～してはいけない」は〈must not [mustn't]
+ 動詞の原形〉の形で表す。「外出する」はgo
out, 「夜は」はat night。
- ⑤ whatを用いて「何の場所をすすめますか」と
いう文にする。「何の場所」はwhat places
と表し、一般動詞の疑問文を続ける。「～を
すすめる」はrecommend。

Unit 3~Project 1

pp.16~19

予想問題

- ① ① 階 ② 試合, 競技 ③ 疲れた ④ 警報機
- ⑤ 重要な, 大切な ⑥ 特別の
- ⑦ tall ⑧ healthy ⑨ join ⑩ seat ⑪ useful
- ⑫ information
- ② ① イ ② エ ③ ア ④ エ ⑤ ウ ⑥ ア
- ③ ① ウ ② ア
- ④ ① away ② fell ③ turn ④ middle
- ⑤ ① case ② without ③ How ④ because
- ⑥ ① If you stay home today, I will visit you.

② I will read a book if it rains.

③ Because I don't have time, I can't go
shopping.

④ I like her because she is kind.

⑦ ① I'll [I will] read comic books.

② I'll [I will] play soccer.

③ It'll [It will] be sunny.

⑧ ① 私は彼が私たちの新しい先生だと思います。

② ながいから, 私はコーヒーが好きではありません。
せん。

③ 地震が起きたとき, 私たちは机の下に入ります。
す。

⑨ ① Do you think this watch is old(?)

② I will stay home if it is cold(tomorrow.)

③ It will be cloudy most of the day(.)

⑩ ① When you leave the room, turn off the
light.

② Because I was tired, I went to bed.

③ What will you do if it rains tomorrow?

考え方

① ① oを2つ重ねる。

⑤ iimportant 書くときは, 下線部はnではなく
mであることに注意。

⑧ hhealthy 下線部のつづりと発音に注意。

⑪ useful 下線部はzではなくsと発音する。

② ①「私の赤ちゃんは2階で眠っています。」
赤ちゃんが眠っている場所として考えられ
るものを選ぶ。on the second floor「2階
で」。I floorが適切。

②「私は疲れているので, 家に帰りたい。」人
の状態を表す形容詞として適切なのは, E
tired「疲れた」。

③「あれは何ですか。」「おや, 火災報知器が鳴っ
たのです!」 fire alarmで「火災報知器」。
A alarm「警報機」が適切。

④「私はあなたの考えは私たちにとって重要
だと思います。」「あなたの考え」をどう
思っているかを説明する形容詞として適切
なのは, I important「重要な」。

⑤「私は窓の近くのよい席を取りました。」

「窓の近くのよい()」の空所に適切な語は、
ウseat「座席」。

- 6 「私たちはコンテストについてたくさんの情報を得ることができます。」 空所はget「～を手に入れる」の目的語の位置にある。アinformation「情報」を入れて、「情報を得る」とするのが適切。
- 3 1 「実演」 3つ目の母音を最も強く読む。
2 「家具」 1つ目の母音を最も強く読む。
- 4 1 「～から逃げる」は、get away from ～。
2 「倒れる」はfall down。fallの過去形はfell。
3 「～を消す」はturn off ～。
4 「真夜中に」は、「夜の中ごろに」と考えることができる。in the middle of ～「～の中ごろに」を使ってin the middle of the nightとする。
- 5 ベル先生:「あなたは非常事態のとき何が必要ですか。そしてそれはなぜですか。」
アオイ:「停電があるかもしれないので、私は懐中電灯が必要です。私は光がないと動くことができません。」
ベル先生:「ありがとう、アオイ。あなたはどうですか、チェン。」
チェン:「私は食べ物と水が必要です。それらがなくて生きていけないからです。」
- 1 直前にin、直後にofがあるので、in case of「～の場合は」とする。caseが適切。
- 2 「動くことができない」と「光」の関係を考える。without「～なしに」を入れて、「光がないと動くことができない」とするのが適切。
- 3 How about you?で「あなたはどうか。」。Howが適切。
- 4 空所をはさんで2つの節が並んでいるので、接続詞が必要。because「～だから」が適切。
- 6 1 「もしあなたが今日家にいるなら、私はあなたを訪問します。」 if ～が文の前半にくる場合は、後半の節の前にカンマを置く。
2 「もし雨が降ったら、私は本を読みます。」 if ～が文の後半にくる場合は、カンマは不要。
3 「時間がないので、私は買い物に行くことが

できません。」 because ～が文の前半にくる場合は、後半の節の前にカンマを置く。

- 4 「彼女は親切なので、私は彼女が好きです。」 because ～が文の後半にくる場合は、カンマは不要。
- 7 1 「もし明日雨が降ったら、あなたは何をしますか。」「私はマンガ本を読みます。」 What will you ～?とたずねられているので、答えの文もwillを使う。
2 「もし明日時間があったら、あなたは何をしますか。」「私はサッカーをします。」 willを使って答える。
3 「明日の天気はどうですか。」「晴れるでしょう。」 天気について述べるときは、itを主語にする。「晴れた」はsunny。
- 8 1 I think that ～で「私は…と思います」という意味。
2 接続詞because「～なので」を使った文。bitterは「にがい」という意味。
3 get under our desksは「机の下に入る」という意味。
- 9 1 「～だと思いますか」という文。()内にthatはないが、thinkのあとに省略されていると考える。疑問文でもthatのあとの語順は変わらないので、「この腕時計は古い」はthis watch is oldと表す。
2 ()内にカンマ(,)がないので、if ～を文の後半に置く。
3 「ほとんどの時間」はmost of the day。
- 10 1 「～するとき」はwhenを使って表す。when ～が文の前半にくるので、後半の節の前にカンマを置く。「～を消す」はturn off ～。「～しなさい」と指示・命令するときは、動詞の原形で文を始める。
2 「～だから」はbecauseを使って表す。because ～が文の前半にくるので、後半の節の前にカンマを置く。「寝る」はgo to bed。
3 「もし～ならば」はifを使って表す。if ～が文の後半にくる場合は、カンマは不要。「雨が降る」はrain。

pp.20~21

予想テスト

- ① ① tired because ② if, let's
③ occur [happen]
- ② ① (I) am going to go shopping (tomorrow.)
② (You) must not eat in the museum.(.)
③ (We didn't know) that our teacher was tired(.)
- ③ ① ウ ② エ
- ④ ① going
② 私はきっとあなたがそれらに(特別な設備)に興味を持つだろうと思います。
③ If you remove the top like this ④ as
- ⑤ ① (例) Can I use your flashlight?
② (例) If you are tired, you don't have to come here. / You don't have to come here if you are tired.
③ (例) Because I was sleepy, I stayed home.
④ (例) Can you open this box?
⑤ (例) When I become a junior high school student, I must wear a school uniform.

考え方

- ① ① 「～だから」はbecauseを使って表す。「疲れた」はtired。
② 「もし～ならば」はifを使って表す。「～しましょう」はlet's ～。
③ 「起こる」はoccur, またはhappenで表す。
- ② ① 「～する予定です」は, be going to ～の形で表す。
② 「～してはいけない」は<must not [mustn't] + 動詞の原形>の形で表す。
③ know that 「～ということを知っている」を使った文。接続詞thatのあとは, <主語 + be 動詞>の語順。
- ③ ソラ: 「明日火災訓練があるということを知っていますか。」
エミリー: 「はい, でも何ををするのですか。」
ソラ: 「火災報知器が鳴ったら, 私たちは学校の建物の外に出ます。」
エミリー: 「ああ, なるほど。」

- ① 空所の直前にknow, 直後に<主語 + 動詞>が続いている。ウthat「～ということ」を入れて, 「明日火災訓練があるということを知っていますか。」とするのが適切。
- ② 空所の前にWe'll go ～, 直後にthe fire alarm goes offと節が並んでいるので, 空所には接続詞が必要。エwhen「～するとき」が適切。
- ④ 「今日, 私は特別な公園について話します。先週, 私はその公園であるイベントに参加しました。私は緊急事態のための特別な設備について学びました。私はあなたがたがそれらに(特別な設備)に興味を持つだろうと思います。この写真を見てください。これはかまどベンチです。上部をこのように取り除くと, 下部を料理用のコンロとして使うことができます。私はほかのメンバーといっしょにそのコンロでカレーライスを作りました。おいしかったです!」
- ① 空所の直前にI'm, 直後にto talkがあるので, be going to ～の形にすればよい。
- ② be sure (that) ～で「きっと～だと思う」という意味。
- ③ ここでのlikeは「～のように」という意味。
- ④ use ～ as ...で「～を…として使う」。
- ⑤ ① 「～してもいいですか」はCan I ～? で表す。「懐中電灯」はflashlight。
② 「もし～ならば」はifを使って表す。ifは文の前半でも後半でもよい。前半にくる場合は, 後半の節の前にカンマを置くことに注意。「こちらへ来る」はcome here。
③ 「～だから」はbecauseを使って表す。「眠い」はsleepy。
④ 「～してくれますか」はCan you ～? で表す。
⑤ 「～するとき」はwhenを使って表す。「中学生」はjunior high school student, 「制服」はschool uniform。

Unit 4～Let's Talk 4

pp.23~25

予想問題

- ① ① 難しい ② 作家 ③ 興味深い ④ お金

5 必要な 6 何か

7 fun 8 pastime 9 doctor 10 patient

11 easy 12 believe

2 1 イ 2 イ 3 ウ 4 イ 5 イ 6 イ

3 1 × 2 ○

4 1 in 2 translated

5 1 novelist 2 of

6 1 It is difficult for me to play soccer.

2 My dream is to be a baseball player.

7 1 I want to try baseball.

2 I want to go shopping.

8 1 私は夏、泳ぐのを楽しみます。

2 ギターをひくことは難しいですか。

9 1 Talking with him is fun(.)

2 My future dream is to be a singer(.)

10 1 Thanks to his idea, I won the game.

2 My favorite pastime is reading manga.

考え方

1 1 difficult「難しい」と11のeasy「簡単な」はセットで覚えよう。

10 patient 下線部のつづりに注意。9のdoctor「医者」とセットで覚えよう。

12 believe 下線部のつづりに注意。

2 1 「私には、早く起きることが難しいです。」
「早く起きること」がどのようなことを説明する形容詞として適切なのは、イdifficult「難しい」。

2 「その作家は毎年約3冊の本を書きます。」
「本を書く」のは、イnovelist「作家」。

3 「私には、古い本を読むことは興味深いです。」
「古い本を読むこと」がどのようなことか説明する形容詞として適切なのは、ウinteresting「興味深い」。

4 「私の好きな娯楽は週末の買い物です。」
「週末の買い物」は楽しいことだと考えられる。イpastime「娯楽」が適切。

5 「医者患者のために熱心に働いています。」
「患者のために働く」人として適切なのは、イdoctors「医者」。

6 「私の先生は私たちが勝つと信じています。」

接続詞thatを目的語にとる動詞は、イbelieve「～だと信じる」。

3 1 「ロボット」,「所属する」。robotの1つ目のoは[ou], belongのoは[ɔ:]と発音する。

2 「娯楽」,「～を翻訳する」。pastimeとtranslateのaはどちらも[æ]と発音する。

4 1 「将来」はin the future。

2 「～を翻訳する」はtranslate。

5 「私の将来の夢は作家になることです。私は小説を読むことが好きです。私は一週間に2,3冊の本を読みます。私は物語を考へることも好きです。私は将来物語を書きたいです。だから、私にとって書くことを練習することは大切です。」

1 「小説を読むことが好き」や、「将来物語を書きたい」という内容から考へる。

2 think of～で「～のことを考へる」という意味。

6 1 「サッカーをすることは私にとって難しいです。」〈It is ～(for + 人) + to + 動詞の原形〉で「(人が)…するのは～です」という意味。

2 「私は野球選手になりたいです。」→「私の夢は野球選手になることです。」「～すること」は〈to + 動詞の原形〉の形で表す。

7 1 「あなたは何のスポーツをやりたいですか。」「私は野球をやりたいです。」want to ～「～したい」を使って答へる。

2 「買い物に行く」はgo shopping。

8 1 〈enjoy + 動詞の-ing形〉は「～するのを楽しむ」という意味。

2 playing the guitarが主語で、「ギターをひくこと」という意味。

9 1 「彼と話す」はtalk with him。

2 「～になること」はto be ～で表す。

10 1 「～のおかげで」はthanks to ～。「試合に勝つ」はwin the game.winの過去形はwon。

2 「～すること」は動名詞〈動詞の-ing形〉を使って表す。

pp.26~27

予想テスト

1 1 It is 2 like playing 3 want to be

- ② ① (I am) interested in studying Japanese culture(.)
 ② It is a lot of fun for me to play (the guitar.)
 ③ I want to be a cook in (the future.)
- ③ ① ウ ② ア ③ エ
- ④ ① to ② got well
 ③ 私も人々を助けたいです。
- ⑤ ① (例) My father likes singing.
 ② (例) What would you like to drink?
 ③ (例) I would like tomato juice.
 ④ (例) My favorite pastime is cycling.
 ⑤ (例) It is necessary for us to follow rules.

考え方

- ① ① 「(人が)…するのは～です」は<It is ～(for + 人) + to + 動詞の原形>で表す。
 ② 「～が好き」likeのあとに、名詞のはたらきをする動名詞(動詞の-ing形)を続ける。
 ③ 「～になりたい」はwant to be ～。
- ② ① 「～に興味がある」は, be interested in ～。inのあとに, studying Japanese culture 「日本文化を勉強すること」を続ける。
 ② 「(人が)…するのは～です」は<It is ～(for + 人) + to + 動詞の原形>で表す。「とても楽しい」はa lot of fun。
 ③ 「～になりたい」はwant to be ～, 「将来」はin the futureの語順。
- ③ チェン: 「サックスを演奏することは難しいですか。」
 アオイ: 「はい, とても。だから私は毎日サックスを練習します。」
 チェン: 「あなたは将来上手なサックス演奏者になりますよ。」
- ① 直前にisがあるので, 名詞のはたらきをする動名詞のウplayingが適切。
 ② 「(サックスを演奏することは)難しい。だから毎日練習する」という流れにする。アso「だから～」が適切。
 ③ in the futureで「将来」。エinが適切。

- ④ ① 「～になること」はto be ～で表す。
 ② 「(病気が)よくなる」はget well。「よくなった」なので, 過去形gotを使う。
 ③ I want to ～は「私は～したいです」という意味。
 ⑤ ① 「～することが好き」は, likeのあとに動名詞(動詞の-ing形)を続ける。「歌う」はsing。
 ② 相手がほしいものをていねいにたずねる表現What would you like to ～?を使う。
 ③ 「～をお願いいたします」と欲しいものをていねいに伝える表現I would like ～.を使う。
 ④ 「～すること」は動名詞(動詞の-ing形)を使って表す。
 ⑤ itを使った表現<It is ～(for + 人) + to + 動詞の原形>「(人が)…するのは～です」を使って表す。「規則に従う」はfollow rules。

Unit 5~Let's Talk 5

pp.29~31

予想問題

- ① ① 重い ② 耳 ③ (～を)聞く, 耳にする
 ④ 試験 ⑤ 結果 ⑥ (～を)望む, 願う
 ⑦ pray ⑧ late ⑨ amazing ⑩ gather
 ⑪ excited ⑫ surprised
- ② ① ア ② ウ ③ イ ④ ア ⑤ イ ⑥ イ
 ③ ① イ ② ア
 ④ ① right ② up
 ⑤ ① for ② like
 ⑥ ① I stayed up late to do my homework.
 ② I was surprised to hear the news.
 ⑦ ① I want something to read.
 ② I want something to drink.
 ⑧ ① 私たちは優勝してうれしかったです。
 ② 私は電車で読むための本を買いました。
 ⑨ ① I was glad to know the result(.)
 ② I came here to study Japanese(.)
 ⑩ ① I stayed up late to read.
 ② I have a lot of pictures to show you.

考え方

- ① ① heavy 下線部のつづりと発音に注意。
 ⑤ アクセントに注意。2つ目の母音を強く読

む。

- ⑦ pray play「～をする、～を演奏する」と混同しないように注意。
- ⑪ excitingは「わくわくさせる」。
- ② ①「私のバッグにはたくさんの本が入っているので、とても重いです。」「たくさん本が入っている」とバッグがどうなるかを考える。ア heavy「重い」が適切。
- ②「ウサギの耳は長い。」ウサギの体で長い部分は、ウ ears「耳」。
- ③「あなたの考えを聞かせてもらえますか。」「いいですよ!」「考えを()の()に入れるのに適切なのは、イ hear「～を聞く」。
- ④「私は次の試験のために熱心に勉強している。」ア examを入れて、「試験」のために勉強している、とするのが適切。
- ⑤「生徒たちは体育館に集まった。」生徒たちと体育館の関係を考える。イ gathered「集まった」が適切。
- ⑥「私はここであなたに会って驚きました。」〈to + 動詞の原形〉は、「…して～」と感情の原因を表す。イ surprised「驚いた」が適切。
- ③ ①「試験」 2つ目の母音を最も強く読む。
②「～を祝う」 1つ目の母音を最も強く読む。
- ④ ①「今すぐ」はright away。
②「遅くまで起きている」はstay up late。
- ⑤「秋田竿燈祭りは有名な夏祭りです。人々はよい収穫を祈るために祭りを開催します。演技者が竿燈と呼ばれるたくさんのちょうちんがついた長い棒を持ち上げます。長くて重いので、それらを持ち上げることはとても難しいです。竿燈は稲穂のように見えます。」
- ① pray for ～で「～を祈る」。forが適切。
- ② look like ～で「～のように見える」。likeが適切。
- ⑥ ①「私は遅くまで起きていました。私は宿題をしました。」→「私は宿題をするために遅くまで起きていました。」不定詞の副詞用法「～するために」を使って、目的を表す文にする。

- ②「私はそのニュースを聞きました。私は驚きました。」→「私はそのニュースを聞いて驚きました。」不定詞の副詞用法「…して～」を使って、感情の原因を表す文にする。
- ⑦ 質問は「あなたは何が欲しいですか。」①は、「読むための何か」と考えsomethingのあとにto readを続ける。②は、「飲むための何か」と考えsomethingのあとにto drinkを続ける。
- ⑧ ①〈to + 動詞の原形〉は、「…して～」と感情の原因を表す。be happy to ～で「～してうれしい」という意味。
② a book to readは〈名詞 + to + 動詞の原形〉の形。「～するための…」という意味を表す。
- ⑨ ①「…して～」と感情の原因を表すには、形容詞のあとに〈to + 動詞の原形〉を続ける。
②「～するために」は不定詞〈to + 動詞の原形〉で表す。
- ⑩ ①「遅くまで起きている」はstay up late。不定詞を使って「～するために」と目的を表し、文末に置く。
②「あなたに見せるための写真」と考え、〈名詞 + to + 動詞の原形〉「～するための…」の形を使ってpictures to show youと表す。「たくさんの」a lot of ～はpicturesの前に置く。

pp.32~33

予想テスト

- ① ① was surprised ② to buy ③ to sleep
② ① (I will) buy something to eat(.)
② Could you show me your passport (, please?)
③ I have a lot of things to do (tomorrow.)
- ③ ① ウ ② ウ ③ ウ
- ④ ① 人々は夏に花火を見て興奮します。
② However ③ to
- ⑤ ① (例) I was excited to see this movie.
② (例) I went to Tokyo to see my uncle.
③ (例) I got up early to study English yesterday.

- 4 (例) I want something to eat.
 5 (例) Could I have something to drink, please?

考え方

- ① 1 「～して驚いた」はbe surprised to ～。
 2 3 「～するために」と目的を表すには、不定詞<to + 動詞の原形>を使う。
- ② 1 「食べるための何か」と考え、somethingのあとにto eatを続ける。
 2 「～していただけますか」とていねいに依頼するときは、Could you ～, please?の形を使う。
- 3 「やるべきたくさんのこと」と考え、〈名詞 + to + 動詞の原形〉「～するべき…」の形を使ってa lot of things to doと表す。
- ③ A: 「すみません、水を持ってきていただけますか。」
 B: 「もちろんです。ほかに何かありますか。」
 A: 「毛布をもう1枚いただけますか。」
 B: 「かしこまりました。今すぐ持ってきます。」
- ① BはOf course. 「もちろんです。」と応じているので、Could you ～, please? 「～していただけますか」と依頼の表現にする。ウcouldが適切。
- ② Anything else? で「ほかに何かありますか。」という意味。ウelseが適切。
- ③ right away で「今すぐ」という意味。ウawayが適切。
- ④ 「人々は夏に花火を見て興奮します。彼らは美しい色と大きい音を楽しみます。しかし、花火はただの娯楽ではありません。特別な意味を持つ花火もあるのです。長岡まつりは新潟県長岡の大きい夏のイベントです。8月1日から3日まで、毎年100万人がお祭りを見に来ます。」
- ① be excited to ～で「～して興奮する」という意味。
 ② 「しかしながら」はhowever。
 ③ from A to Bで「AからBまで」という意味。
- ⑤ ① 「～して興奮する」はbe excited to ～。

- ② 「～するために」と目的を表すには、不定詞<to + 動詞の原形>を使う。
 ③ 「～するために」と目的を表すには、不定詞<to + 動詞の原形>を使う。「早起きをする」はget up early。
 ④ 「何か食べるもの」は「食べるための何か」と考え、somethingのあとにto eatを続ける。
 ⑤ 「～していただけますか」は、Could you ～, please? で表すことができる。

Unit 6～Project 2

pp.36～39

予想問題

- ① ① ミツバチ ② 停留所 ③ 人 ④ 葉、葉っぱ
 ⑤ なまけている、怠惰な ⑥ はずかしがりの
 ⑦ head ⑧ eye ⑨ nose ⑩ thing ⑪ body
 ⑫ minute
- ② ① ア ② ア ③ ア ④ イ
 ③ ① ア ② ウ ③ ア ④ エ ⑤ ア ⑥ ウ
 ④ ① hold
 ② every twenty minutes
 ③ know about
 ④ By the way
 ⑤ Welcome to
- ⑤ ① looked ② tastes ③ feel ④ got
 ⑥ ① Hiroshi bought Bruno a handkerchief.
 ② I'll show you the pictures.
 ⑦ ① We call it a *namakemono*.
 ② She'll give him a book.
 ③ He feels happy.
- ⑧ ① ウマは1日に3時間しか眠りません。
 ② このリングは見た目はよいですが、実際には、おいしくありませんでした。
 ③ 私はリンゴやバナナなどのフルーツを朝食に食べます。
- ⑨ ① I'll send you an e-mail (later.)
 ② I bought Tom this tie(.)
 ③ Which bus goes to Asahi Museum(?)
 ④ That singer will become popular(.)
 ⑤ How often do the trains come(?)
- ⑩ ① We call it Uluru.
 ② They looked excited.

- 3 He gave me this flower.
- 4 Please bring me something to drink.

考え方

- ① 1 eを2つ重ねる。
 - 3 people「人々」とあわせて覚えよう。
 - 8 eye eで始まることに注意。
 - 12 minute 下線部のつづりに注意。
- ② 1 「ヒトデ」 1つ目の母音を最も強く読む。
 - 2 「キュウリ」 1つ目の母音を最も強く読む。
 - 3 「乗客」 1つ目の母音を最も強く読む。
 - 4 「～を消化する」 2つ目の母音を最も強く読む。
- ③ 1 「そのオスのライオンは動物園の人気者です。みんなが彼を見にやってきます。」 「みんなが彼を見にくる」ということは、彼が「人気者」だということ。ア starが適切。
 - 2 「たくさんの乗客が搭乗口でフライトを待っています。」 搭乗口でフライトを待つのは、ウ passengers「乗客」。
 - 3 「私には英語を勉強するたくさんの理由があります。第一に、私は留学したいです。」 英語を勉強する「理由」の1つが、留学したいからだと考えられる。ア reasonsが適切。
 - 4 「マイクの生活はのんびりして見えるが、実際には、彼はとてもいそがしい。」 「いそがしい」と逆のことは何か考える。エ slow「ゆっくりな、のんびりした」が適切。
 - 5 「私たちはこの川でたくさんの魚をつかまえることができます。」 川でつかまえることができるのは、ア fish「魚」。
 - 6 「この問題はとても簡単でした。」 「本当に？ 私にとってはとても難しかったです。」 「簡単な」、 「難しい」で説明できるのは、ウ problem「問題」。
- ④ 1 「(手)をつなぐ」はhold。
 - 2 「～分ごとに」はevery ~ minutes。
 - 3 「～について知っている」はknow about ~。
 - 4 「ところで」はby the way。
 - 5 「～へようこそ」はwelcome to ~。
- ⑤ 1 「～に見えました」なので、lookを使って表

す。過去の文なので過去形にする。

- ② 「～の味がする」と考え、tasteで表す。this fruit pieは3人称単数。
- ③ 「～だと感じる」は〈feel + 形容詞〉の形。
- ④ 「(ある状態)になる」は〈get + 形容詞〉の形。getを過去形にする。
- ⑥ 1 「ヒロシはブルーノにハンカチを買いました。」 〈buy + A(人) + B(もの)〉「AにBを買う」の形で表す。
 - 2 「私はあなたに写真を見せます。」 〈show + A(人) + B(もの)〉「AにBを見せる」の形で表す。
- ⑦ 1 「その動物は何と呼びますか。」 「私たちはそれをナマケモノと呼びます。」 語数の指定より、〈call + A(人・もの) + B(名前)〉「A(人・もの)をB(名前)と呼ぶ」の形を使って答える。the animalはitに置きかえる。
 - 2 「アイはタロウに何をあげるつもりですか。」 「彼女は彼に本をあげるつもりです。」 「A(人)にB(もの)を与える」 〈give + A + B〉の形を使って答える。
 - 3 「リョウが電話でマヤと話するとき、彼はどんな気持ちですか。」 「彼はうれしいです。」 「～だと感じる」 〈feel + 形容詞〉の形を使う。
- ⑧ 1 a dayは「1日につき」という意味。
 - 2 ここでのbadは「(味が)まずい」という意味。
 - 3 ここでのlikeは「～のような」という意味。
- ⑨ 1 「A(人)にB(もの)を送る」は〈send + A + B〉の語順。
 - 2 「A(人)にB(もの)を買う」は〈buy + A + B〉の語順。
 - 3 「どの～」は〈which + 名詞〉の形。
 - 4 「～になる」は〈become + 形容詞〉の形。
 - 5 頻度をたずねるときは、how oftenで文を始める。
- ⑩ 1 「A(人・もの)をB(名前)と呼ぶ」は〈call + A + B〉の形を使って表す。
 - 2 「～に見える」は〈look + 形容詞〉の形で表す。
 - 3 語数の指定より、〈give + A + B〉の形を使って表す。
 - 4 「A(人)にB(もの)を持ってくる」 〈bring +

A + B)の形を使って表す。語数の指定より、「～してください」はpleaseを使う。

pp.40~41

予想テスト

- ① ① changed into ② anymore ③ looks angry
 ② ① This apple tastes delicious(.)
 ② I'll tell you a funny story(.)
 ③ Don't judge people by their looks(.)
 ③ ① イ ② エ
 ④ ① Bees give us honey ② in
 ③ It shows the direction and distance to the nectar.
 ⑤ ① (例) You look tired.
 ② (例) Can you show me your notebook?
 ③ (例) I call our dog Bill.
 ④ (例) Sloths sleep for twenty hours a day.

考え方

- ① ① 「～に変わる」はchange into ～。
 ② 「今はもう～ない」はanymoreを使って表す。
 ③ 「～に見える」は〈look + 形容詞〉の形。「怒った」はangry。
 ② ① 「～の味がする」は〈taste + 形容詞〉の形。
 ② 「A(人)にB(もの)を話す」は〈tell + A + B〉の形。
 ③ 「見た目」は, by「～によって」を使って by their looksと表す。
 ③ A: 「すみません。どのバスがカエデ博物館に行きますか。」
 B: 「ええと。10番に乗ってください。カエデ博物館は4つ目の停留所です。」
 A: 「バスはどのくらいの頻度で来ますか。」
 B: 「30分ごとに来ます。」
 ① BはTake No. 10. 「10番に乗ってください。」と答えているので, どのバスに乗ればよいかとたずねたと考えられる。イ「どのバスがカエデ博物館に行きますか。」が適切。
 ② Aは「バスはどのくらいの頻度で来ますか。」とたずねているので, 頻度を答えているエ「30分ごとに来ます。」が適切。

- ④ 「ハチは私たちにハチミツを与えてくれます。彼らは花のみつからハチミツを作ります。みつを見つけると, 彼らは巣箱に戻って, 8の字の形で踊り始めます。彼らのダンスは他のハチに花のみつへの方向と距離を示しています。」
 ① 〈give + A + B〉の形にして, 「ハチは私たちにハチミツを与えてくれます」とする。
 ② inを使って, in a figure eightと表す。
 ③ 「ハチのダンスは何を示していますか。」「それは花のみつへの方向と距離を示しています。」 4文目参照。
 ⑤ ① 「～に見える」は〈look + 形容詞〉の形で表す。
 ② 「～してくれますか」はCan you ～?で表す。「(私に) あなたのノートを見せる」は, 〈show + A(人) + B(もの)〉の形を使う。
 ③ 〈call + A + B〉の形を使って表す。
 ④ 「20時間」twenty hoursのあとに, 「1日に(つき)」a dayを続ける。

Unit 7~Let's Talk 7

pp.44~47

予想問題

- ① ① 調査 ② バラ ③ 平均の ④ ～を推測する
 ⑤ ～を含む ⑥ ～を比較する ⑦ 食事 ⑧ とび上がる, ジャンプする
 ⑨ class ⑩ turtle ⑪ coat ⑫ sweater
 ⑬ high ⑭ coin ⑮ list ⑯ light
 ② ① ア ② ア ③ ウ ④ ア ⑤ ア ⑥ ア
 ③ ① ア ② エ ③ ウ
 ④ ① key to ② May I help ③ try, on
 ④ too big ⑤ popular among
 ⑤ ① busier ② difficult ③ hottest
 ④ most beautiful
 ⑥ ① Takeshi's dog is bigger than mine.
 ② This room is the most expensive in the hotel.
 ③ This book is as interesting as that book.
 ④ That is the most famous song in Japan.
 ⑦ ① not as ② most useful ③ larger, or
 ⑧ ① (Aki) is taller than Yuka(.)
 ② (Ryo) is the tallest of the (four.)

- 3 Yuka is.
- 9 ① この調査では、日本は訪れるのにいちばん人気がある場所です。
- ② マヤのバッグは私のものよりも軽いです。
- ③ もっと小さいものはありますか。
- 10 ① Mai can swim faster than Donna(.)
- ② This manga is the most interesting (of the three.)
- ③ The library is as new as our school(.)
- 11 ① I sleep as long as my brother.
- ② The most important thing to me is family.
- ③ Russia is the largest country in the world.

考え方

- ① 6 compare 下線部のつづりに注意。
- ⑦ diet 下線部のつづりに注意。
- 12 sweater 下線部のつづりに注意。
- 16 light lで始めることに注意。
- 2 ① 「サッカー〔英〕, アメリカンフットボール〔米〕」 1つ目の母音を最も強く読む。
- ② 「スイス」 1つ目の母音を最も強く読む。
- ③ 「ヨーロッパの」 3つ目の母音を最も強く読む。
- ④ 「上着, ジャケット」 1つ目の母音を最も強く読む。
- ⑤ 「調査」 1つ目の母音を最も強く読む。
- ⑥ 「平均の」 1つ目の母音を最も強く読む。
- 3 ① 「これが選手の名前のリストです。」 「選手の名前」が書かれた「リスト」とすればよい。A listが適切。
- ② 「アイはとても上手にドリブルしました。」直後がthe ballなので, E dribbledを入れて「ボールをドリブルした」とする。
- ③ healthy dietで「健康的な食事」。ウdietが適切。
- 4 ① 「～の秘訣」はthe key to ～。
- ② 「いらっしやいませ。」はMay I help you?。
- ③ 「～を試着する」はtry ～ on。
- ④ 「～すぎる」は〈too + 形容詞〉を使って表す。

- 5 「～の間」はamong。
- 5 ① 「私の母は父よりもいそがしいです。」thanがあるので比較級の文だとわかる。busyはyをiにかえて-erをつける。
- ② 「マイクにとって国語は数学と同じくらい難しいです。」前後にasがあるので, 〈as + 形容詞 + as ～〉「～と同じくらい…」の形にする。形容詞の形は変わらない。
- ③ 「夏は日本でいちばん暑い季節です。」直前にtheがあるので, 「～のうちにいちばん…」という最上級の文にする。hotの最上級はtを重ねて-estをつける。
- ④ 「この花はこの庭でいちばん美しいです。」直前にthe, 直後にinがあるので, 「～のうちにいちばん…」という最上級の文にする。beautifulの最上級は前にmostを置く。
- 6 ① 「タケシのイヌは大きいです。」→「タケシのイヌは私のイヌよりも大きいです。」〈比較級 + than ～〉の形にする。bigの比較級はgを重ねて-erをつける。
- ② 「この部屋は高いです。」→「この部屋はホテルの中でいちばん高いです。」〈the + 最上級 + of [in] ～〉の形にする。expensiveの最上級は前にmostを置く。「ホテルの中で」は範囲を示すので, inを使う。
- ③ 「この本は興味深いです。」→「この本はあの本と同じくらい興味深いです。」〈as + 形容詞 + as ～〉「～と同じくらい…」の形にする。asとasの間のinterestingはもとの形のまま。
- ④ 「あれは有名な歌です。」→「あれは日本でいちばん有名な歌です。」〈the + 最上級 + of [in] ～〉の形にする。famousの最上級は前にmostを置く。「日本で」は範囲を示すので, inを使う。
- 7 ① 「～ほど…でない」は〈not + as + 形容詞 + as ～〉の形で表す。
- ② 「何がいちばん～ですか。」は〈What is the + 最上級 (+ 名詞) ～?〉の形。useful「役に立つ」の最上級は前にmostを置く。
- ③ 「AとBでは, どちらが～ですか。」は〈Which

is + 比較級, A or B? の形で表す。large 「広い」の比較級は、語尾に -r をつける。

- ⑧ ① 「ユカはアキよりも背が高いですか。」「いいえ、高くありません。アキはユカよりも背が高いです。」
- ② 「タロウはリョウよりも背が高いですか。」「いいえ、高くありません。リョウが4人の中でいちばん背が高いです。」〈the + 最上級 + of [in] ~〉「~のうちでいちばん…」の形で表す。「4人の中で」は仲間・同類を示す of を使って表す。
- ③ 「だれがいちばん背が低いですか。」「ユカです。」Who is ~? という be 動詞の疑問文なので、be 動詞を使って答える。
- ⑨ ① the most popular place は〈the + 最上級 + 名詞〉の形。「いちばん〜な…」と訳すと同じ。
- ② 〈比較級 + than ~〉は「~よりも…」。light は「軽い」という意味。
- ③ 形容詞の比較級を使った表現。smaller one で「(これよりも)小さいもの」という意味。
- ⑩ ① 「~よりも速く」は、副詞 fast「速く」の比較級 faster を使って表す。fastest が不要。
- ② interesting「興味深い」の最上級は、前に most を置く。more が不要。
- ③ 「~と同じくらい新しい」は、〈as + 形容詞 + as ~〉の形を使って表す。more が不要。
- ⑪ ① 「~と同じくらい長く」は、副詞 long「長く」を使って、〈as + 副詞 + as ~〉の形で表す。
- ② 「いちばん大切なもの」は、〈the + 最上級 + 名詞〉「いちばん〜な…」の形を使って表す。
- ③ 「いちばん〜な…」は、〈the + 最上級 + 名詞〉の形を使って表す。「面積が広い」という意味での「大きい」は large を使う。

pp.48~49

予想テスト

- ① ① both, and
② include
③ differs from, to
- ② ① Question 2 was more difficult than Question 1(.)

- ② What is the longest river in the world(?)
- ③ I think tennis is the most exciting sport(.)

③ ① イ ② エ

④ ① ① largest ③ larger

② カナダが世界で2番目に大きい国だということ。

③ いちばん小さい国は何ですか。

- ⑤ ① (例) Yuka thinks (that) math is the most difficult (subject) of the five.
- ② (例) Yuka thinks (that) Japanese is the most interesting (subject) of the five.
- ③ (例) Yuka thinks (that) English is more difficult than science.
- (例) Yuka thinks (that) math is more interesting than English.

考え方

- ① ① 「AとBの両方とも」は both A and B.
- ② 「~を含む」は include.
- ③ 「~によってちがう」は differ from ~ to ~.
- ② ① 「~よりも難しい」は difficult の比較級を使って more difficult than ~ と表す。
- ② 「何ですか」なので、what で文を始める。「いちばん長い川」は long の最上級を使って the longest river と表す。
- ③ 「私は~と思います」は I think ~.。「いちばんわくわくさせるスポーツ」は exciting の最上級を使って、the most exciting sport と表す。
- ③ A: 「こんにちは。いらっしゃいませ。」
B: 「私は帽子を探しているのですが。」
A: 「こちらはどうですか。」
B: 「かっこいいですね。それを試着してもいいですか。」
A: 「もちろんです。」
- ① B の発言「私は帽子を探しています。」から、店での会話だとわかる。イ「いらっしゃいませ。」が適切。
- ② A が「もちろんです。」と応じているので、

Bは何かの許可を求めているとわかる。

エ「それを試着してもいいですか。」が適切。

- ④ エミリー：「この表を見てください。これは面積による国のリストです。」

ソラ：「ロシアが世界でいちばん大きな国です。おや、カナダが2番目です。私はそれを知りませんでした。」

エミリー：「カナダはアメリカと中国よりも大きいです。」

ソラ：「いちばん小さい国は何ですか。」

エミリー：「バチカン市国です！」

- ① ①直前にthe, 直後にinがあるので, 最上級にする。largeの最上級は, 語尾に-estをつける。
- ③直後にthanがあるので, 語尾に-rをつけて比較級にする。
- ② ソラの2番目の発言参照。直前の自分の発言を指して, そのことについて知らなかったと言っている。
- ③ What is ~?「~は何ですか」の文。the smallest countryは「いちばん小さい国」という意味。
- ⑤ ①「いちばん難しい」はdifficultの最上級most difficultを使って表す。mostの前にtheをつけ忘れないように注意。
- ②「いちばん興味深い」はinterestingの最上級most interestingを使って表す。
- ③ 表の中から2つの教科を選んで, 〈比較級+than ~〉の形を使って書く。

Unit 8~Project 3

pp.52~55

予想問題

- ① ① よう精 ② 品物 ③ 古代の ④ におい ⑤ 貿易, 取引 ⑥ ~を殺す
- ⑦ interview ⑧ castle ⑨ car ⑩ volunteer
- ⑪ message ⑫ lady
- ② ① × ② ○
- ③ ① イ ② イ ③ ア ④ イ ⑤ ウ ⑥ エ
- ④ ① came back ② works for ③ Why don't we ④ Would you like ⑤ At first
- ⑤ ① are liked ② was built ③ Is, spoken

- ④ was not ⑤ was delivered ⑥ will be
- ⑥ ① is washed ② were carried ③ isn't used ④ Was, painted
- ⑦ ① No, it wasn't. ② It was painted by Mika.
- ⑧ ① 彼女は私たちのチームで重要な役割をはたしています。
- ② 私はますます多くの人々がブラジルを訪れることを願っています。
- ③ たとえあなたが注意深く隠しても, イヌはそれを見つけるでしょう。
- ⑨ ① These pictures were taken in (Osaka.) ② The postcard was not written by (Ken.) ③ The parade can be seen from (here.) ④ I had an interview with a famous singer(.) ⑤ First of all(, thank you for coming today.)
- ⑩ ① The cafe is loved by everyone. ② This piano is not made in Japan. ③ What language is spoken in Italy? ④ I like soccer better than rugby. ⑤ We need to protect wild animals.

考え方

- ① ② 書くときはsを忘れないように注意。
- ④, ⑥ どちらもlを2つ重ねる。
- ⑧ castle tは発音しないので注意。
- ⑩ volunteer 下線部を強く読む。
- ⑫ gentleman「男性, 紳士」とセットで覚える。
- ② ①「写真」, 「~が大好きである」 photoのoは[ou], loveのoは[ʌ]と発音する。
- ②「喜び」, 「におい」 pleasureのeaとsmellのeは, どちらも[e]と発音する。
- ③ ①「部屋がさわがしすぎたので, 私はあなたの声が聞こえませんでした。」 声が聞こえなかった理由を考える。イnoisy「さわがしい」が適切。
- ②「私はサトウさんの家に招待されました。」 「家に」とあるので, イinvitedを入れて「招待された」とするのが適切。

- 3 「ニューヨークはたくさんの観光客に訪れます。」 ニューヨークを訪れるのは、ア tourists「観光客」。
- 4 「この写真はどこで撮ったのですか。」
takeの目的語として適切なのは、イ photo「写真」。
- 5 「その本は1月に出版されました。」 「本は」とあるので、ウ publishedを入れて「出版された」とするのが適切。
- 6 「私は切手を買いに郵便局へ行きました。」
郵便局へ行く理由とするには、エ stamps「切手」が適切。
- 4 1 「もどって来る」はcome back。過去の文なので、comeを過去形cameにする。
- 2 「～に勤めている」はwork for ～。
- 3 「私たちといっしょに～しませんか」はWhy don't we ～?で表す。主語がweであるので「～といっしょに」にあたるwith ～は用いない。
- 4 「～しませんか」はWould you like to ～?
- 5 「最初は」はat first。
- 5 1 主語が複数なので、be動詞はare。likeの過去分詞形はliked。
- 2 過去の文なので、be動詞を過去形にする。buildの過去分詞形はbuilt。
- 3 受け身の疑問文は、be動詞を主語の前に出す。speakの過去分詞形はspoken。
- 4 受け身の否定文は、be動詞のあとにnotを置く。
- 5 過去の文なので、be動詞を過去形にする。規則動詞の過去分詞形は過去形と同じ。
- 6 「～されるでしょう」は〈will + be + 動詞の過去分詞〉の形で表す。
- 6 受け身の文に書きかえる。
- 1 「マイクは毎週日曜日、その車を洗います。」→「その車は毎週日曜日、マイクによって洗われます。」 「毎週日曜日」なので、be動詞はisを使う。
- 2 「その少年はそれらのバッグを運びました。」→「それらのバッグはその少年によって運ばれました。」 those bagsは複数なので、be動詞はwereを使う。
- 3 「私の姉[妹]はそのコンピューターを使いません。」→「そのコンピューターは私の姉[妹]によって使われません。」 受け身の否定文はbe動詞のあとにnotを置く。空所の数より、短縮形isn'tを使う。
- 4 「マックスがその絵をかきましたか。」→「その絵はマックスによってかかれましたか。」主語that pictureは単数で、過去の文なので、be動詞はwasを使う。
- 7 1 「そのコートは日本製ですか。」 「いいえ、違います。」 受け身の疑問文には、be動詞を使って答える。
- 2 「その絵はだれがかいたのですか。」 「それはミカによってかかれました。」 語数の指定より、by ～「～によって」を使って絵をかいた人を示す。
- 8 1 play a role in ～は「～で役割をはたす」という意味。
- 2 more and moreは「ますます多くの～」という意味。
- 3 even if ～は「たとえ～であっても」という意味。hideは「～を隠す」。
- 9 1 受け身の文。wereのあとにtake「(写真・ビデオ)をとる」の過去分詞形takenを続ける。
- 2 受け身の否定文はbe動詞のあとにnotを置く。
- 3 助動詞can「～することができる」を使った受け身の文。助動詞と受け身をいっしょに使うときの語順は、〈助動詞 + be + 動詞の過去分詞〉。
- 4 「～にインタビューする」はhave an interview with ～の語順。
- 5 「まず」はfirst of allの語順。
- 10 1 「みんなに」は、by「～によって」を使って表す。
- 2 be made in ～の否定文で表す。
- 3 「何語」はwhat languageと表す。speak「話す」の過去分詞形spokenを使う。
- 4 「…よりも～が好きだ」は〈like ～ better than ...〉の形で表す。

- 5 「～する必要がある」はneed to ～で表す。
「～を守る[保護する]」はprotect。

pp.56~57

予想テスト

- ① ① at, high price
② sniff out
③ such as
- ② ① I fell in love with the wild animals on (this island.)
② Her new book will be published in (March.)
③ More and more people are working overseas(.)
- ③ ① エ ② イ
- ④ ① その会社は皿やランプのようなさまざまな品物を扱っています。
② Is English spoken in Morocco
③ Arabic and French are.
- ⑤ ① (例) My bag was made in Kyoto [in 2018].
② (例) When was your house built?
③ (例) I like apples better than bananas.

考え方

- ① ① 「高い値段で」はat a high price。
② sniffは「～のにおいをかぐ」。sniff out ～で「～のにおいをかぎつける」という意味になる。
③ 「～のような」はsuch as ～。
- ② ① 「～に恋をする」はfall in love with ～。
② 助動詞will「～でしょう」を使った受け身の文。助動詞と受け身をいっしょに使うときの語順は、〈助動詞 + be + 動詞の過去分詞〉。
③ 「ますます多くの～」はmore and more ～と表す。「海外で働く」はwork overseas。
- ③ ① A: 「次の土曜日に、私といっしょに買い物に行きませんか。」B: 「次の土曜日ですか。すみません。その日は予定があります。」Would you like to ～?は「～しませんか」と相手を誘う表現。I'm sorry.と言ってか

ら、断る理由を述べているエが適切。

- ② A: 「映画を見に行きませんか。」B: 「いいですね。よろこんで。」I'd love to.「よろこんで。」は、誘いを受けるときの表現。人を誘う表現Why don't we ～?「～しませんか」を使ったイが適切。
- ④ 「私はモロッコにある会社に勤めています。その会社は皿やランプのようなさまざまな品物を扱っています。あなたはそれらをインターネットで買うことができます。英語はモロッコで話されていますか。答えは『いいえ』です。英語は一般に話されていませんが、アラビア語とフランス語が広く話されています。」
- ① deal with ～は「～を扱う」、such as ～は「～のような」という意味。
- ② () 内にspeakの過去分詞形spokenとbe動詞isがあるので、受け身の疑問文だとわかる。be動詞を主語の前に出す。
- ③ 「モロッコでは何語が広く話されていますか。」「アラビア語とフランス語です。」6文目参照。受け身の疑問文にはbe動詞を使って答えるので、areを忘れないように注意。
- ⑤ ① makeの過去分詞形madeを使って表す。
② buildの過去分詞形builtを使う。
③ 「…よりも～が好きだ」は〈like ～ better than ...〉の形で表す。

Let's Read

pp.60~61

予想問題

- ① ① 子ども ② 肉 ③ 十分に ④ (～に)…を支払う
⑤ けがをした ⑥ おびえた
⑦ sit ⑧ fly ⑨ close ⑩ weird ⑪ alive
⑫ physical
- ② ① × ② ×
- ③ ① ア ② イ ③ エ ④ イ ⑤ ア
- ④ ① for waiting ② be quiet ③ What about
④ gets off
- ⑤ ① 練習の最中にタロウはけがをしました。

- 2 私は眠くなってきました。
 3 たくさんの人がおりの周囲に集まりました。
 4 あなたは好きなだけ眠ることができます。
- ⑥ 1 He said (that) he wanted a new coat.
 2 I'll bring you something to drink.
 3 I didn't hear about the plan.
 4 Ramen is hard [difficult] to eat with a fork.

考え方

- ① 2 meet「～に会う」と混同しないように注意。
 3 enough 書くときは下線部のつづりに注意。
 9 [klous]と発音する。「(店・施設が)閉まる」という意味のcloseは[klouz]と発音するので注意。
 12 physical 下線部のつづりに注意。
- ② 1 「死んだ」, 「肉」 deadのeaは[e], meatのeaは[i:]と発音する。
 2 「お母さん」, 「十分な」 momのoは[a(:)], enoughのouは[ʌ]と発音する。
- ③ 1 「ここは寒いですね。」「このコートを着てください。」 put ~ onで「～を着る」。アputが適切。
 2 「このウサギは死んでいるのですか。」「いいえ、生きています。見て。動いています。」「死んでいるのですか」という質問に「いいえ」と答えているので, dead「死んだ」の反対の意味の言葉が入るとわかる。イalive「生きている」が適切。
 3 「店は午前10時に開店して、午後5時に閉店します。」 open「開店する」と対になるのは, エcloses「閉店する」。
 4 「あなたのイヌはどこにいますか。」「心配しないでください、彼はケージの中にいます。」イヌが入る場所として適切なのは, イcage「おり」
 5 「それは本物の鳥ではありません。それはおもちゃです。」「おもちゃの鳥」ということは, 本物ではないということ。アreal「本物の」が適切。
- ④ 1 「～してくれてありがとう。」はThank you

for doing.

- 2 「静かにする」はbe quiet.
 3 「～はどうしますか。」は, What about ~? の形。
 4 「仕事を終わりにする」はget off work。
 ⑤ 1 get hurtは「けがをする」という意味。
 2 現在進行形を使った表現I'm getting～.は, 「(だんだん)～になってきた」という意味。
 3 gather around ～は「～の周囲に集まる」という意味。
 4 all you wantは「好きなだけ」という意味。
- ⑥ 1 「彼は～と言った」の部分, say「～と言う」の過去形saidを使って, He said (that) ～.と表す。that節の前の動詞が過去形(ここではsaid)なので, あとの動詞(ここではwant「～がほしい」)の時制を一致させてwantedとする。
 2 「A(人)にB(もの)を持ってくる」〈bring + A + B〉の形を使って表す。「何か飲むもの」はsomething to drink。
 3 「～について聞く」はhear about ～。
 4 「難しい」はhard, またはdifficultを使って表す。「フォークで」はwith a fork。

pp.62~63

予想テスト

- ① 1 ran away 2 Put, on
 ② 1 I want to sit down here and watch TV(.)
 2 I'll pay you 50,000 yen a (week.)
 ③ 1 この場所は動物園のように見えます。
 2 what do I have to do
 3 He'll wear a tiger costume.
 ④ 1 ライオンと戦いをすること。
 2 おりが開いてライオンが喜六のすぐ近くに來ました。
 3 Hasegawa is.
 ⑤ 1 (例)I'm getting excited.
 2 (例)I'm scared of bees.
 3 (例)Aya said (that) she wanted to go to a zoo.

考え方

- ① ①「逃げる」はrun away。runの過去形はran。
- ②「～を着る」はput ~ on。
- ② ①「ここに座る」はsit down here。
- ②「pay + A + B」「AにBを支払う」の形を使う。
「1週間に」は、a「～につき」を使って、a weekとする。
- ③ 喜六:「ふーん、この場所は動物園のように見えるな。こんにちは、長谷川さんはこちらにいますか。」
長谷川:「はい、私がこの動物園の園長の長谷川です。どうぞ座ってください。」
喜六:「長谷川さん、私はここで何をしなければいけないのですか。」
長谷川:「ええと、私たちのトラが昨日死んでしまったのです。彼は子どもたちの間でとても人気でした。ですから、今度はあなたがトラになります。」
喜六:「何ですって。トラになるのですか。」
長谷川:「はい、トラです!」
喜六:「でもどのようにして?」
長谷川:「簡単です! 私がトラの衣装を作ったので、あなたはそれを着ることが出来ます。」
- ① look like ~は「～のように見える」という意味。zooは「動物園」。
- ② ()内にwhatとhave toがあるので、「私は何をしなければならないのですか」という疑問文にする。
- ③「喜六はどのようにしてトラになりますか。」
「彼はトラの衣装を着ます。」 長谷川の最後の発言参照。語数の指定より。He willの短縮形He'llを使う。
- ④ アナウンス:「本日はお越しくださしまして大変ありがとうございます。みなさまのために今から特別イベントがあります。ライオンのおりをこちらに持ってきて、ライオンをトラのおりの中に入れます。ライオンとトラの間のすごい戦いです! 周りに集

まってください!」

喜六:「何だって! 冗談^{じやうだん}じゃない! これに1日1万円では十分ではない! 私は毎日けがをしてしまう。やだ、やだ! ライオンのおりをここに持ってくるな! やめろ! あー、ライオンが来る! 助けて! 助けて!」
おりが開いてライオンが喜六のすぐ近くにきました。そのときライオンが喜六の耳にささやきました。

ライオン:「心配しないでください、私です。園長の長谷川です。」

- ① アナウンスの発言の内容から、特別の催しとしてライオンとトラの間の戦いがあることがわかる。喜六の反応No way!「冗談じゃない!」より、「これに1日1万円では十分ではない」の「これ」はライオンとの戦いだと考えることができる。
- ② closeは「すぐ近くに」という意味の副詞。come closerで「(もっと)すぐ近くに来る」という意味。
- ③「ライオンはだれですか。」「長谷川です。」ライオンの発言参照。
- ⑤ ①「(だんだん)～になってきた」は、I'm getting~.の形を使って表す。「興奮した、わくわくした」はexcited。
- ②「～におびえている」はbe scared of~で表す。
- ③「アヤは～と言った」の部分はAya said (that) ~と表す。「～に行きたい」の部分は、that節の前の動詞(ここではsaid)に時制を一致させて、wanted to go to ~とする。